



市民の党

横浜市議会議員 井上さくらの市議会レポート

2012年 秋号

# さくら便り



井上さくら事務所  
〒230-0062  
鶴見区豊岡町35-27  
TEL 045(571)6950  
FAX 045(571)7020  
✉ sakuraline@me.com

災害に弱くて  
高価な

## 新しい市庁舎計画

今、横浜市は市役所の新しい庁舎建設に向け「基本構想」を準備しています。関内駅前にある現庁舎が手狭だとして、みなとみらいに隣接する場所に超高層ビルを新たに建設し、これを市役所にしようというのです。

### 今どき、地震で液状化、津波で孤立という場所に?!

予定地は今よりさらに海に近いため、地震時には液状化の危険が極めて高く（右下図：横浜市が作成した南関東地震ハザードマップ参照）、津波が来れば浸水地域になる事が想定されています。

こんな場所が予定地なのは、3・11 大震災の前に購入した土地を見直す事無く計画を進めているからです。

### そんな新庁舎に1500億円?

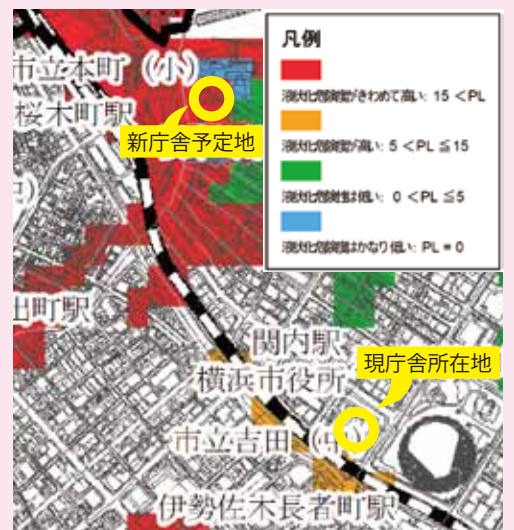
試算では土地購入とは別に、1,500億円もかかる上、現庁舎の跡地にもさらに税金を投入して再開発をしようとしています。もっと他に使うべき所はあるのです。

### 区役所の防災機能強化が先!

災害に強い市庁舎を目指すとしていますが、それならば広い横浜市にたった一カ所の市役所を要塞のようにするのはではなく、市民に近い各区役所の防災機能を強化し、1つがダメでも他がカバーするようなネットワーク化こそ急がなければなりません。そうすれば市役所は当分、既存施設の活用で充分です。



これが新市庁舎のイメージ図。現在建っている手前のビルよりさらに立派な超高層ビルです。（みなとみらい線、馬車道駅上）



新庁舎予定地=赤色=液状化危険度極大  
現庁舎所在地=無色=液状化危険なし

ご心配な事、ご意見、ご要望など、ぜひお聞かせください。

# 最近実現できたことを紹介します。

## 防災無線できました。

津波等の警報を知らせる防災無線、横浜にはありませんでした。3・11の教訓から設置を求めてきたところ、昨年12月の市会で約8700万円の補正予算が生まれ、鶴見区をはじめ沿岸部6区10カ所に市内で初めて防災用スピーカーを設置する事業を決定。今年度予算では更に約6億8千万円を計上。約90カ所に防災用スピーカーを設置（一基約700万円）する予定です。

第1号が鶴見に設置されました。今後、順次増設していきます。



太陽光発電と蓄電池も装備、停電しても使えます。  
(生麦貝ノ浜公園)

## 給食の放射能対策、前進中

小学校給食に続き、保育園の給食でも放射能検査が始まりました。一日一園を選んで食材ごとに検査、提供前に市のホームページで結果を公表しています。これも子ども達を守るために、保護者らが粘り強く運動してきた結果です。

国が定めた基準値を超えた場合に使用中止するのはもちろんですが、子どもは大人より放射能の影響を受けやすい事を考え、基準値内であっても検出された食材は給食には使わないよう求めています。

さよなら原発！  
エネルギーソフトなう！



保護者の皆さんと一っしょに粘り強く市と交渉

## 鶴見駅西口駐輪場オープンへ(^.^)

自転車あふれる西口によりやく駐輪場が完成し2013年4月から新規利用可能になります。定期利用中心の計画ですが、より使いやすくできるよう、一時利用枠もつくるよう働きかけています。また、旧東芝病院の跡地にはバイク駐輪場もオープン。違法駐輪を無くし、車いすやベビーカー、歩行者みんなが安心して使える駅前になりたいですね。



鶴見駅西口第二自転車駐輪場完成予想図

## 新しい所属委員会が決まりました

2012年度、井上さくらは以下の委員になりました。一生懸命、働きます！

【温暖化対策・環境創造・資源循環常任委員会】

⇒エネルギー問題、環境保護、公園や下水道整備、ゴミ・リサイクル等を担当

【横浜市基本条例の制定に関する調査特別委員会】

⇒議会改革、開かれた議会にするための条例制定を検討中